

インマヌエル中目黒キリスト教会
2011年2月27日
聖日礼拝

ネヘミヤ記連講4

「感動が広がる」

ネヘミヤ記2章7-18節

竿代 照夫 牧師



聖書朗読

旧約聖書

ネヘミヤ記2章7-18節

7 それで、私は王に言った。

「もしも、王さまがよろしければ、
川向こうの総督たちへの手紙を
私に賜り、
私がユダに着くまで、
彼らが私を通らせるように
してください。

8 また、

王に属する御園の番人アサフ
への手紙も賜り、
宮の城門の梁を置くため、
また、あの町の城壁と、
私が入る家のために、
彼が材木を私に与えるように
してください。」

私の神の恵みの御手が
私の上にあったので、
王はそれをかなえてくれた。

9 私は、
川向こうの総督たちのところに行き、
王の手紙を彼らに手渡した。
それに、
王は将校たちと騎兵を
私につけてくれた。

10 ホロン人サヌバラテと、
アモン人で役人のトビヤは、
これを聞いて、
非常に不きげんになった。
イスラエル人の利益を求める人
がやって来たからである。

11 こうして、
私はエルサレムにやって来て、
そこに三日間とどまった。

12 あるとき、私は夜中に起きた。

ほかに数人の者も

いっしょにいた。

しかし、私の神が、

私の心を動かして

エルサレムのためにさせようと

されることを、

私はだれにも告げなかった。

また、私が乗った獣のほかには、

一頭の獣も連れて行かなかった。

13 私は夜、

谷の門を通って竜の泉のほう、
糞の門のところに出て行き、
エルサレムの城壁を調べると、
それはくずされ、
その門は火で焼け尽きていた。

14 さらに、

私は泉の門と王の池のほうへ
進んで行ったが、
私の乗っている獣の通れる所が
なかった。

15 そこで、

私は夜のうちに流れを
上って行き、
城壁を調べた。

そしてまた引き返し、
谷の門を通って戻って来た。

16 代表者たちは、
私がどこへ行っていたか、
また私が何をしていたか
知らなかった。
それに、私は、
それをユダヤ人にも、
祭司たちにも、
おもだった人たちにも、
代表者たちにも、
その他工事をする者たちにも、
まだ知らせていなかった。

17 それから、私は彼らに言った。

「あなたがたは、
私たちの当面している困難を
見ている。

エルサレムは廃墟となり、

その門は

火で焼き払われたままである。

さあ、

エルサレムの城壁を建て直し、

もうこれ以上

そしりを受けないようにしよう」

18 そして、

私に恵みを下さった

私の神の御手のことと、

また、王が私に話したことばを、

彼らに告げた。

そこで彼らは、

「さあ、再建に取りかかろう」

と言って、

この良い仕事に着手した。

説教

ネヘミヤ記連講4

「感動が広がる」

ネヘミヤ記**2章7節-18節**

竿代 照夫 牧師

主テキスト：

「私に恵みを下さった
私の神の御手のことと、
また、王が私に話したことばを、
彼らに告げた。

そこで彼らは、
『さあ、再建に取りかかろう。』

と言って、
この良い仕事に着手した。」

(ネヘミヤ2：18)

< 「神の恵みの御手」
が働いた物語 >

1. それは、
ネヘミヤの帰還を助けた
(7-1 1 節)

- ・ アルタシャスタ王の心が動く

・ リクエストを超えた王の好意：

①エルサレム再建許可、

②休暇許可、

③通行許可、

④材木調達許可、

プラス、

⑤護衛兵帯同、

⑥ネヘミヤのユダヤ総督任命

- ・ネヘミヤのエルサレム帰還：

(ペルシャ帝国の地図参照)



2. それは、
ネヘミヤの視察を助けた
（12-16節）
- ・ 密かな視察
（エルサレム地図参照）
 - ・ なぜ隠密行動？
 - ① 現場確認のため
 - ② 秘密護持のため
 - ③ 人心統一のため
 - ・ 神の与えた实际的知恵

ネヘミヤの夜間調査



3. それは、民を感動させた (17-18節)

- ・ 民の招集：

- ① 祭司（宗教指導者）、
- ② おもだった人（上級市民）、
- ③ 代表者
(民衆から選ばれた政治指導者)
- ④ 工事をする者（建設者）、
- ⑤ 一般人

- 演説

- ①現状認識：困難を直視する

- ②目標設定：

- 「城壁再建」の一点

- ③恵みの証し：

- 「神の恵みの御手」

- 結果：神の感動が及んで行動に

終わりに：

教会の建設に力と心を協せよう
(エペソ4：16)